ちよだ 区議会だより

No. 220
平成26年11月27日
編集: 区議会だより編集委員会
発行: 千代田区議会
〒102 - 8688 千代田区九段南1-2-1
☎ 3264-2111 内線3315
ファクシミリ 3288–5920

第３回 定例区議会

丸の内仲通り歩行者天国

トップニュース Top News

決算認定・町名変更等可決！

■平成25年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について
歳入596億3,980万8,177円、歳出560億2,217万5,695円、差額36億1,763万2,482円の決算が認定されました。

■町名の変更について
平成30年1月1日から、三崎町及び猿楽町の名称をそれぞれ「神田三崎町」及び「神田猿楽町」へ変更することになりました。

主な内容

●代表質問 …… 2 ～ 3 面
●一般質問 …… 4 ～ 5 面
●定例区議会活動報告等 … 6 ～11面
●議案の審議結果等 ……12面

提案された議案等

◆区長提出議案等
- 条例等 ……5 件
- 決算 ……1 件
- 報告 ……4 件

◆委員会提出議案
- 意見書 ……2 件
- 附帯決議 ……1 件

◆議員提出議案
- 条例 ……1 件
- 意見書 ……1 件

●ホームページアドレス
http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp

●メールアドレス
kugikai@city.chiyoda.lg.jp

＊この区議会だよりは、区議会ホームページでもご覧になれます。区議会ホームページでは、「区議会日程」や「キッズページ」等を掲載しています。また、区議会の最新情報をお届けする「メールマガジン」も発行していますので、どうぞご利用ください。

<QRコード>

平成26年第4回定例区議会は、
11月20日から開会しています。

平成26年第3回定例区議会

代表質問（要旨）

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

自由民主党議員団

桜井 ただし

平成25年度決算と財政運営

問 ①予算執行にあたっての基本的姿勢、具体的な取り組みは②今後の財政運営の方針と具体的な財政計画は。

答 ①区民の生活実態等を把握し、事務事業の目標を明確にして効果的な執行に努めてきた②行財政改革条例を踏まえ、効果的・効率的な財政運営を行う。また、基金の有効活用を検討する。

異常気象に伴う自然災害の対応

問 ①水害対策見直しについての認識と今後のスケジュールは②ハザードマップ等区民が知っておくべき情報について、どのように周知していくのか。

答 ①ハード・ソフト両面からの対策が重要課題と認識。都に対し必要な措置の申し入れ等を行う他、多様な情報発信手段を導入②「防災の手引き」への掲載等、内容充実に取り組む。

この街に住み、働き続けるために

問 ①耐震化助成期限を延長し、耐震改修等の実績増加を検討すべきでは②ディベロッパーの資金等を活用した、マンションの建て替えや共同化に対し、より一層積極的な取り組みが必要では。

答 ①都と連携を図り検討②地権者が主体となって取り組むことが基本だが、アドバイザー派遣等とともに、容積率の緩和特例も視野に入れ支援していく。

麹町大通り沿道

新しい千代田

髙澤 秀行

介護保険の改定について

問 ①第6期介護事業計画策定の進捗状況及び第5期計画の達成状況は②今回の改定で介護保険利用料は所得に応じ1割から2割負担となる。本区では多くの方の利用料が倍になるとの懸念があるが、区の見解は。

答 ①協議会を開催、介護保険の現状とニーズ調査の結果報告をした。今期達成状況は、「淡路にこにこフォーユープラザ」等が予定どおり開始され、サービス利用の選択肢を広げている②負担能力に応じた負担はやむを得ず、国の方針を尊重すべきであるが、一定の経過措置も必要と考えている。

園庭のない保育園の遊び場

問 ①子どもの遊び場としてカスケードホールを有効利用しては②新たな保育園誘致に成功した場合、遊び場を確保できるのか③園庭のある保育園と、ない保育園とで同様の保育の質が担保されるべきと考えるが、区の見解は。

答 ①現在、具体的利用方法等を詰めており近日中に利用できるようにする②園庭の確保が望ましいが難しい。新設の保育園も含め区立施設の開放を積極的に行い、子どもの遊び場確保に努めていく③保育所の形態や実施主体に関係なく同質・同等の環境で保育が受けられるよう今まで以上に努めていく。

その他、「水害対策」「職員住宅」について質問がありました。

日本共産党区議団

木村 正明

「都市再生」の3つのゆがみ

問 都市計画ルールの緩和によるゆがみの発生①地下空間拡充と関係者間の連携不足による水害に弱いまち②業務床面積拡大に伴う CO_2 排出量の増加③マンション過剰供給による空家の急増。

答 ①地下全体の連携が必要。地下通路で接続する駅とビル全てによる協議会設置を推進②これまでの取り組みを更に推進させ、国や都と連携し削減に努める③今後も人口増加が見込まれるため多様な活用を視野に入れ検討。

住まいは人権の立場で

問 公共住宅について、次の対策を求める①低所得者向け住宅確保②若年・中年単身低所得世帯への支援③中堅所得層世帯の入居所得基準引き上げ。

答 ①老朽化が進んだ住宅の立て替えが優先事項②③高齢者・障害者への支援を重点に置いているため、所得基準の引き上げや直接供給の拡充は考えていない。国・都等広域的な対応が必要。

介護保険事業計画について

問 新たな総合事業が開始されるが①現行の要支援者は、訪問・通所介護サービスの継続、維持は可能か②現行の1割負担から増額されるのか。

答 ①継続に配慮する②サービス利用の継続性に配慮し、今後決定する。

求められる地下空間の水害対策

代表・一般質問は、発言者の責任の下に質問の要旨を掲載しています。

平成26年第3回定例区議会

代表質問（要旨）

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

公明党議員団

大串 ひろやす

子どもの読書活動推進について

問　読み聞かせをした時間は子どもにとっても親にとっても永遠の宝物といわれている。永遠の宝物をすべての子どもへ「子ども読書活動推進のまち、千代田」を目指したい。読書活動に関わる人材の育成とボランティア活動への支援が必要だが、どう行っていくのか。また、仮称「読み聞かせコンシェルジュ」の認定制度を設けてはどうか。

答　セミナーや講演会等学びの場の提供や活動支援、そして読み聞かせボランティアの育成等一層充実していく。また、「読み聞かせコンシェルジュ」のような仕組みの導入も検討していく。

魅力ある道づくりについて

問　①区画道路について「通過交通の抑制と歩車共存型道路の形成に努め、地域のコミュニティ空間として機能するよう整備する」との整備方針は大いに評価できる。改めて道路のあり方、役割をどう認識し、どのようなビジョンを持って整備するのかを問う②コミュニティ道路やコミュニティゾーン整備の計画的推進を提案する。所見は。

答　①道路は、これまでの車を中心とした考えから、まちの賑わいや地域の活性化を図る公共空間として活用されることが重要と認識している②コミュニティ道路整備計画の策定はこれまでの取り組みを踏まえ方向性を模索する。

幹線道路と区画道路図

ちよだの声

小林 たかや

命に関わる天井崩落防止策とは

問　①九段会館の今後は②区は天井崩落対策を再検討すべき③学校施設の天井等の非構造部材の耐震化の進め方は。早急に取り組める対応等を検討すべき④区有施設のモニュメントの耐震性は。

答　①国と接触しているが、具体的な話をする段階ではない②国の基準に基づき進める③外壁の外装材、窓ガラス等は対応済。文部科学省の耐震化ガイドブックを参考に、教育施設等の安全点検を実施している④問題なしと認識。

東京五輪に向けたおもてなしとは

問　①まちのガイドブックの統一性は②地域活動への支援は③ガイドブック等の置場や広報への公的資金導入は④上記取り組みの、実行プログラムへの予算計上は。

答　①商店街等の独自性を生かし、多言語対応等の統一的対応を、機会を捉え働きかける②③より効果的な支援を検討する④計上する方向で作業中。

小・中学生のスマホ利用ルールは

問　①小・中学校の携帯端末の使用状況やルールの把握方法は②地域ルールをつくっては。

答　①小・中学校共に、全国調査結果より保有率が高い結果であった②家庭でのルールづくりへの支援が適切。

地域のタウン紙「おさんぽ神保町」

代表・一般質問は、発言者の責任の下に質問の要旨を掲載しています。

平成26年第3回定例区議会

一般質問（要旨）

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

永田 壮一 （自民）

小・中学校の不登校について

問 ①区立学校の不登校児童・生徒の現状は②原因及び日常的な対応は③家庭環境に問題がある場合の支援は④出席日数が少ない児童・生徒への配慮は。

答 過去5年平均は小学校4名、中学校等32名で推移②情緒的混乱や病気の割合が高い。対応は、面談等の個別指導③スクールソーシャルワーカーと連携④学習教材や進路情報を提供する。

サイバー犯罪について

問 ①ネット販売・不正送金対策は②警察との連携は③消費生活センターへの相談件数と対応は④学校での指導は。

答 ①注意喚起の講座開催等②協議会を組織③253件。助言等をし、必要に応じ事業者と交渉④総合的学習の中で安全性に関する注意事項等を学ぶ。

内田 直之 （自民）

超高層マンションの防災対策

問 超高層マンションの長周期地震動対策と防災対策設備等の実態調査と設置指導を提案する。

答 長周期地震動の影響は、不明な部分が多い。国は超高層建築物への影響を調査し対策を見直すとしていることから、この結果を踏まえた上で、必要な措置を講じ、実態調査も行う。

地域防災力の向上について

問 内閣府の「防災白書」では、共助の重要性が指摘されている。ボトムアップ型の地区防災計画作成を提案する。

答 従来から区内15カ所の避難所で協助の精神のもと訓練を実施している。今後、本区の特性を踏まえた「共助」のあり方について、更に区民と協働、連携し取り組んでいく。

河合 良郎 （千代田）

区立小学校の芝生整備について

問 校庭芝生化は年間4割が養生期間等の課題がある。芝生化が大切か、子どもの健全育成が大切か、本末転倒にならないよう、対策が必要。

答 養生等の使用制限は導入前からの課題であったが、芝生化の意義は大きいと判断した。今後、課題解決に向け地域や学校等と協働管理の仕組みを検討していく。

幼・保・こども園の職員の現状

問 非正規職員が正規職員の役割を果たしている実態がある。人材を使い捨てにしない改善策が必要である。雇用の継続性は担保されているのか。

答 任用期間を複数回更新でき、勤務成績良好で意欲のある職員は、更に延長が可能で、継続性は担保されている。

松本 佳子 （自民）

高齢者の健康を維持するために

問 ①健康づくりへの取り組みは②高齢者施設では、利用者の身体機能を長く維持できるための工夫・努力が必要。

答 ①在宅サービスセンター等で事業を実施。今後は、（仮称）高齢者総合サポートセンターにおいて、他施設等と連携を図り支援②区も積極的に関与し、生活機能の維持・改善に取り組む。

乳幼児の預かり施設について

問 ①多様なニーズに対応するため、子どもを預けられる場、保育費補助が必要②こども園の位置付けは③乳児から幼児期への過渡期の指導内容は。

答 ①地域型保育事業を活用し環境を整備②幼稚園の適正規模確保、小学校教育への円滑な接続等③子どもの発達や学びの連続性等を意識し指導。

寺沢 文子 （声）

子ども・子育て支援新制度の導入

問 ①来年度に導入される新制度の周知方法等区の対応②病児・病後児保育の利用しやすい仕組みづくりと受け入れ場所等の拡充をすべき③感染症による学級閉鎖時における学童保育の受け入れ再開を④学童クラブ保育時間の延長を。

答 ①住民説明会、広報・ホームページ等で周知②区内医療機関等と協議を進め検討③感染予防、蔓延防止のため受け入れは困難。低学年の子どもの対策は急いで検討する④子ども・子育て支援計画検討の中で議論していく。

集団的自衛権行使容認閣議決定

問 自治体の長としての見解は。

答 平和と不戦を念頭に国づくりを進めてきたことを踏まえ、国においてさまざまな論議がされることを期待する。

小林 やすお （自民）

平和使節団について

問 鹿児島県北九州市の知覧特攻平和会館では、戦争犠牲者といえる少年特攻隊員の遺書の縦覧ができ、民間人が犠牲となった被爆地や戦闘地域と違う角度から戦争の悲惨さを知ることができる。戦争とは抽象的な概念ではなく、実際に身内や家族が引き裂かれていくものであり、そのことを想像できる力を養うことが戦争の抑止力になる。ぜひ、長崎平和使節団の日程に同会館の視察を加えることを検討してほしい。

答 さまざまな角度から戦争の悲惨さを知る機会があることも重要と考える。幅広い観点から派遣先を検討していく。

代表・一般質問は、発言者の責任の下に質問の要旨を掲載しています。

平成26年第3回定例区議会

一般質問（要旨）

※全文は、区議会ホームページでご覧になれます。

安岡 けんじ　（行革ク）

スマホの持つ負の側面について

問　スマホやタブレット端末の急速な普及に伴い、青少年、小･中･高生のネット依存による生活習慣の乱れや、無料通信アプリ等による人間関係の悪化がいじめに発展する等の問題が発生している。こうした問題に対し、区はどのような対策を考えているのか。

答　区立学校の生徒を対象に、「情報モラル教育」に取り組んでいる。保護者と子どもがスマホ依存の問題点を十分に話し合い、各家庭でルールを作ることが適切だと考えている。そのために、学校と保護者が問題意識を共有し、家庭でのルール作りを支援するための啓発活動や呼びかけを進めていく。今後、心理や医療の専門家、青少年委員や保護司等の地域関係者から広く意見を聴いていく。

岩佐 りょう子　（民主）

国家戦略特区について

問　①区はどのように関与していくのか②区域方針の規制改革事項の中で、慎重を期すべき点、協働できる点は。

答　①②区域会議において、区域計画を策定する。事業提案等の詳細が明らかになってきた段階で、区民生活への影響を検討し対応する。

改定基本計画と障がい者政策

問　①改定計画の施策目標の中の「地域での助け合い」とは②サービス一元化への組織のあり方は。

答　①施設から地域生活に円滑に移行できるよう、関係機関との連携強化の方向を示している②障害者施設の「えみふる」を拠点施設とし機能強化を図り、区の組織として障害者福祉に、より総合的に取り組める体制を検討。

林 則行　（千代田）

千代田区基本計画の再改定

問　①本年度に再改定する基本計画に若年女性の人口減少率や出生率、健康寿命等の現状分析と目標値を記載すべき②10年計画で5年を目途とする改定が適正な期間と認識しているのか。

答　①現時点での数値データを資料として示す方法を検討している②東京オリンピック開催に向け、中･長期的視点の施策展開のため10年とし、社会情勢変化に対応するため5年とした。

介護保険制度の今後の課題

問　高齢者総合サポートセンターと地域包括支援センターの今後の関係は。

答　在宅療養者の緊急時対応において九段坂病院や介護事業者等と協力し、医療と介護の両側面から、高齢者の抱える不安や問題の解決を図る。

はやお 恭一　（千代田）

AED有効活用への取り組み

問　①区内の官民の設置状況と配置の適正さは②維持管理の状況及び青少年を含む区民への周知・啓発は。

答　①民間の正確な設置数は未把握。配備が有効と想定される所に今後柔軟に対応②委託業者が定期点検・消耗品交換を実施。区民への反復教育や潜在医療職･青少年への教育を充実させる。

地域での防災訓練充実について

問　①防災設備・備品の活用方法等、全世代への周知が必要②民間企業との有事の際の連携は。

答　①避難所運営協議会ごとの訓練に加え、各町会・マンションの防災訓練を積極的に支援し、若い世代にも周知を図る②地域と企業のワクをこえた地域防災組織等、自主的な活動を支援。

飯島 和子　（共産）

子育て新制度実施に向けて

問　区長の見解を問う①教育と保育は不可分だが、新制度は切り離していること②保護者は区立認可保育所の希望が多いこと③法人事業者への公立保育施設の無償貸し付け④5人以下の小規模「地域型保育」は認可保育所基準を下回らないように⑤保育の質を確保・向上させるために、設置基準を示すガイドラインの策定⑥地域型保育事業者に会計報告の義務付け⑦低所得者の負担増とならない保育料にすること⑧新制度に対応できる区の組織体制拡充を。

答　①分離ではなく、支給認定での区分②民間事業者の力も借り保育供給を図る③有効な手立ての一つ④国の基準を踏まえ作業中⑤策定作業中⑥検討する⑦保護者の経済的負担を考慮し検討中⑧保育関係システム機能増強を進めている。

コミュニティサイクル「ちよくる」

代表・一般質問は、発言者の責任の下に質問の要旨を掲載しています。

平成26年第3回定例区議会

定例区議会活動報告 Activity Report

常任委員会

常任委員会では、区長提出議案5件及び議員提出議案1件を審査しました。
議案の審査結果をご紹介します。
なお、審議結果は12ページをご覧ください。

企画総務委員会

議案2件の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区手数料条例の一部を改正する条例」は、条例中の衛生関係手数料で引用している「薬事法」が改正され、「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」となったことに伴い、条例中の同法及び同法施行令に係る規定を整備するものです。改正法の施行日である平成26年11月25日から施行します。

〈審査経過〉

今回の法律改正は、医療機器の製造業や製造販売業について、医薬品との章を区分して規定することや、医薬品の保健衛生上の危害発生、拡大防止のための規制を明示すること、また、再生医療等の製品を新たに定義し、併せて法律名を変更すること、主に医療機器の製造販売業等の事業者に関連する事項が多く、区民生活には直接影響を及ぼすものではないこと等の説明がありました。

「千代田区議会議員政治倫理条例」は、議員が遵守すべき政治倫理基準を定め、基準に違反する疑いがあると区民が認めたときの必要な措置を定めるものです。

〈審査経過〉

今後の委員会の中で議論し、審査することになりました。

その他、陳情1件の審査及び「特別区人事委員会勧告の概要」「(改定)千代田区第3次基本計画の改定」「補助金のあり方に関する検討委員会の設置」等について、執行機関から報告がありました。

生活福祉委員会

議案2件の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区立障害者福祉センター条例の一部を改正する条例」は、「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」の改正により、「共同生活介護（ケアホーム）」が「共同生活援助（グループホーム）」に一元化されたことに伴い、「共同生活介護」の条項を削る等、規定を整備するものです。

〈審査経過〉

質疑の中で、条例改正による施設運営への影響について、今回の法律改正では、従来、共同生活介護を実施していなかったグループホームには、職員配置基準が強化される等の影響が生じるが、区立障害者福祉センター「えみふる」では、開設当初から共同生活介護と共同生活援助の両事業を実施しているため、施設運営面での影響は生じないこと等が明らかになりました。その他、委員からは利用者への周知や利用実態の把握等についての意見がありました。

「町名の変更について」は、「三崎町一丁目から三丁目まで」並びに「猿楽町一丁目及び二丁目」の各町名を、それぞれ「神田三崎町一丁目から三丁目まで」並びに「神田猿楽町一丁目及び二丁目」に変更するものです。

施行日は平成30年1月1日です。

〈審査経過〉

質疑の中で、町名に対する歴史的認識や事業所の負担軽減、更なる意向調査の実施について、一定の整理を行いました。執行機関からは、長年地域で生活されてきた方々の「神田」という町名への愛着心や価値観をどう捉えるかといった観点から実施を決断したこと、単にアンケート調査の賛否の多寡（たか）だけで決するものではなく、歴史的経緯や社会的影響等、幅広い観点から総合的に判断すべきであること、住民アンケートの実施や住居表示審議会での論議、地域の生の声の聴取等、広範な地域の意向把握に努めてきたとの説明がありました。

町名変更の実施にあたっては、社会的混乱が生ずることなく、できる限り地域の総意となるよう努力する必要があるのではないかという委員からの意見に対し、執行機関からは平成30年の施行に向け、地域に対して丁寧に説明し、理解いただけるように対応していくとの回答がありました。

委員会の記録は、区議会ホームページや区役所７階の区議会事務局でご覧になれます。

平成26年第3回定例区議会

定例区議会活動報告 Activity Report

常任委員会

環境文教委員会

議案2件の審査経過は以下のとおりです。

「千代田区こども医療費助成条例等の一部を改正する条例」は、「千代田区こども医療費助成条例」「千代田区高校生等医療費助成条例」及び「千代田区ひとり親家庭等の医療費の助成に関する条例」の3条例を一括して改正するものです。

これは、交通事故等の第三者行為による事由により傷病が生じた場合の各医療費助成について、事故等の加害者たる第三者に対し、区からの求償権を明確にするため、損害賠償請求権の区への譲渡の規定を整備するものです。施行は公布の日からです。

〈審査経過〉

質疑の中で、現在は、交通事故等の第三者行為に係わる医療費助成の求償は、民法第422条を類推適用して行っているが、損害賠償請求権の区への譲渡規定を条例に明記することが望ましいとの東京都からの通知を受けて、条例改正を実施すること、また、損害賠償請求権の区への譲渡については、医療費助成の対象者から区へ助成の申請があった場合に、区から内容説明をするとともに、損害賠償請求権の譲渡について明記した文書を手渡すこと等が明らかになりました。

「千代田区児童育成手当条例の一部を改正する条例」は、「千代田区心身障害者福祉手当条例」の改正及び「千代田区難病患者福祉手当条例」の廃止に伴い、引用規定を整備するものです。施行は公布の日からで、改正後の千代田区児童育成手当条例の規定は、引用条例の改正・廃止の施行日である平成26年8月1日から適用します。

〈審査経過〉

質疑の中で、施行日については、引用条例にあわせ遡及すること、また、遡及することで不利益が生じないことが確認されました。

特別委員会

公共施設整備特別委員会

執行機関から、通所系5種類、入所系6種類の区内高齢者施設について現況報告がありました。質疑の中で、将来推計では特別養護老人ホーム、老人保健施設等の整備が特に必要であること、また、特別養護老人ホームは喫緊に100名規模の整備が必要であり、早期に定員を増やすため当面は小規模な施設建設から着手していくこと、老人保健施設は医療機関への働きかけを続けていくこと等が明らかになりました。

駅及び駅周辺環境整備特別委員会

「飯田橋駅及び駅周辺のまちづくり」では、第三者有識者委員会で、駅ホームの安全対策の検討が開始されたことについて報告がありました。

また、「御茶ノ水駅及び駅周辺のまちづくり」では、周辺道路の整備状況や駅のバリアフリー化工事について、「神田駅及び駅周辺のまちづくり」では、駅周辺環境整備懇話会の開催状況や駅周辺道路整備等の状況報告がありました。

商工観光施策特別委員会

当委員会では3件の報告がありました。①千代田の秋まつりの概要について②農商工連携による地方都市との交流促進に向けて、まちみらい千代田とNPO等が連携して推進している「ちよだフードバレーネットワーク等について」。委員からは関係団体との意見交換会開催の要望等がありました③「コミュニティサイクル実証実験の開始について」。利用料金やサイクルポート設置場所等について質疑がありました。

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

執行機関から、(仮称)実行プログラムの検討状況について、オリンピック・パラリンピック開催を契機とした新規事業や既存事業計画の前倒しの他、当委員会での議論を取り入れて作成した素案の報告がありました。また、委員会では今後の調査項目として、皇居周辺地域の中から競技大会予定会場である日本武道館周辺や区道である代官町通りを重点に課題を整理し、調査することになりました。

決算特別委員会

平成25年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定については、全議員で構成する決算特別委員会を設置し、審査しました。委員会では、多岐にわたる分野の調査が必要なことから、企画総務、生活福祉、環境文教の3つの分科会を設置し、詳細に調査を行いました。分科会の調査報告を受け、総括質疑、意見発表を終え採決に入ったところ、本決算は賛成多数で認定すべきものと決定しました。

主な質疑項目は、次のとおりです。

○学校校庭の芝生化　○成年後見制度　○敬老祝金　○条例、規則、要綱等と裁量権の範囲
○持続可能な社会に向けてのまちづくりと環境問題　○ビッグデータとオープンデータの活用
○神田東松下町計画　○乳児家庭訪問、5歳児健康診査、就学時健康診断　○政務活動費

〈討論〉

【反対の意見】

補助金支給における公平性、公正性、客観性を保つための情報公開が不十分なままであることが明らかになった。また、神田東松下町計画では、ディベロッパー選定時における区民との約束である重要事項を次々と変更してしまった。区の大切な学校跡地を提供したまちづくりが再開発優先になってしまうことは、区民のためのまちづくりとはいえない。区がこのようなまちづくりを開発事業者と進めた決算は、認定できない。（小林た）

反対する第1の理由は、まちづくりの問題である。超高層ビルを林立させる都市再生は、地域環境を悪化させ、地震、水害等の災害に弱いまちに変えてしまう。第2の理由は、低所得者世帯ほど負担増となる国保料値上げが行われたことである。第3の理由は、栄養士、学校生活サポート支援員、保育士等、子どもたちを育む職員の雇用が不安定だということである。この分野での正規職員の抜本的な増員を図るべきである。よって、決算認定に反対する。（木村）

【賛成の意見】

区民が明るい展望を持てる区政運営を行うことを強く要望した中、平成25年度決算は、審査の過程でいくつかの課題が明らかになったものの、全体としては議会の指摘事項を十分に踏まえ、区の説明責任を果たし区民に信頼される区政運営の実現に取り組むことが示された。審査の過程におけるさまざまな意見について、今後、十分留意し区民の目線に立ち、議会、区民とともに区政運営を行っていくことへの一層の努力を求め、決算認定に賛成する。（永田）

監査委員による決算審査結果では、予算執行状況、財政運営及び財産管理状況はいずれも適正で、議会における決算審査でも、いくつかの事業において課題があるものの、執行全体を否定するほどの事項は見当たらなかった。一部の事業において区民に対する思いやり、保護者に対する心配りが足らず、不安や不信感を増幅させている実態があったが、この点を認識し、真に区民の立場に立った、心配りのある区政運営を行うよう努力することを願い、決算認定に賛成する。（安岡）

平成25年度は、特に危機管理、保健福祉、次世代育成の3分野を中心に取り組みを行った。中学校図書室への司書派遣を週3回に増やしたこと、お話し会や絵本の読み聞かせ等子どもの読書活動の推進、生活保護者への就労支援事業等評価できる。今後も、豊かな地域社会の実現に向け、区民と共にという姿勢を保ち、あらゆる手段を用いての丁寧な情報提供、また地域包括ケアシステムの構築等重要施策を推進していくことを要望し、決算認定に賛成する。（大串）

平成25年度予算は、危機管理、保健福祉、次世代育成に関する取り組みを重点とし、高齢者施策、子育て施策の拡大、防災対策の充実等、区民の安全・安心に資する事務執行が行われた。質疑の中で、富士見小学校校庭の芝生を点検すること、外濠公園グラウンドの土を改修すること等が明らかとなった。再改定される第3次基本計画に委員会での議論が反映され、また、議会、区民、行政が一体となってこの計画を作り上げていくことを期待し、決算認定に賛成する。（髙澤）

平成25年度千代田区 各会計歳入歳出決算額

（単位：円）

会計別	歳入決算額	歳出決算額	差　額
一　般　会　計	49,587,955,740	46,586,264,573	3,001,691,167
国民健康保険事業会計	4,891,513,548	4,519,124,144	372,389,404
介護保険特別会計	3,764,718,227	3,622,881,636	141,836,591
後期高齢者医療特別会計	1,395,620,662	1,293,905,342	101,715,320
合　計	59,639,808,177	56,022,175,695	3,617,632,482

委員会の記録は、区議会ホームページや区役所７階の区議会事務局でご覧になれます。

今定例区議会で可決した附帯決議・意見書(要旨)

議案第38号　町名の変更についてに対する附帯決議

委員会では、丁寧に、かつ、精力的に議論を重ね、執行機関にも意向調査の実施等を要望してきたところである。

この度、改めての意向調査が実施されることなく議案として提出されたことは、委員会としても誠に残念なことである。そこで、施行を迎える平成30年までに、社会的混乱が生ずることなく、また、出来る限り地域の総意となるよう、あらゆる手段を講じ努力することを求める。

以上、決議する。

手話言語法の制定に関する意見書

日本政府は障害者権利条約の批准に向けて国内法の整備を進め、平成23年8月に成立した改正障害者基本法第3条第3号では、「全て障害者は、可能な限り、言語（手話を含む。）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められています。

また、同法第22条では、国・地方公共団体に対し、情報保障施策を講じなければならないとされており、手話が音声言語と対等な言語であることを広く国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、さらには手話を言語として普及、研究することのできる環境整備に向けた法整備を国として実現することが必要です。

よって、千代田区議会は、政府に対して、「手話言語法（仮称）」を制定するよう強く要請いたします。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

（提出先）内閣総理大臣・文部科学大臣・厚生労働大臣

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成に関する意見書

ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成は、対象となる医療が限定されているため、助成対象からはずされている患者が相当数にのぼっています。また、肝疾患は身体障害者福祉法上の障害認定の対象とされていますが、医学上の認定基準がきわめて厳しいため肝炎患者に対する生活支援の実効性を発揮していません。さらに、肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成を含む生活支援についていまだ新たな具体策が講じられておらず、一刻の猶予もない課題となっています。

よって、千代田区議会は、国会及び政府に対し、以下の事項を要望いたします。

1. ウイルス性肝硬変・肝がんに係わる医療費助成を創設すること
2. 身体障害者福祉法上の肝機能障害による身体障害者手帳の認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度とすること

以上、地方自治法第 99 条の規定に基づき意見書を提出します。

（提出先）　衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣・厚生労働大臣

地方税財源の拡充に関する意見書

地方自治体が責任を持って充実した住民サービスを提供していくためには、需要に見合う財源の確保が不可欠であり、地方財政が抱える巨額の財源不足という問題は、限られた地方税財源の中での財源調整では根本的な解決を図ることができません。

よって、千代田区議会は、国会及び政府に対し、法人実効税率の引下げを行う場合には、国の責任において確実な代替財源を確保するなど、全ての地方自治体の歳入に影響を及ぼさないよう万全の対応を行うとともに、地方税の根本原則をゆがめる地方法人特別税・地方法人譲与税と法人住民税の国税化を直ちに撤廃して地方税として復元し、地方が担う権限と責任に見合う地方税財源の拡充という本質的な問題に取り組むよう強く要請します。

以上、地方自治法第 99 条の規定に基づき意見書を提出します。

（提出先）　衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・総務大臣・財務大臣

本会議における討論(要旨)

今定例区議会では、次の2件の議案を採決するにあたり、討論がありました。その要旨をご紹介します。

1．町名の変更について

【反対の意見】

区が今やるべきことは、町名変更が住民の自主的まちづくり運動として発展するよう支援を強めることである。現状での町名変更は時期尚早であり、住民の十分な納得がないまま進められれば、地域再生の要となる地域コミュニティに大きな否定的影響をもたらしかねないと判断し反対する。　（木村）

2．地方税財源の拡充に関する意見書

【反対の意見】

法人実効税率の引き下げが前提になっているが、①日本の法人税負担は決して高くない②高くない上に、各種優遇税制により実効税率どおりの負担がされていない③実効税率を引き下げても労働者の賃上げ・雇用の安定に結びつかず、くらしや景気回復の効果が期待できない。よって反対する。　（飯島）

【賛成の意見】

地方税の根本原則をゆがめる、地方法人特別税・地方法人特別譲与税と法人住民税の国税化を直ちに撤廃して地方税として復元し、地方が担う権限と責任に見合う地方税財源の拡充という本質的な問題に早急に取り組む必要がある。よって、賛成する。　（小林や）

委員会の記録は、区議会ホームページや区役所７階の区議会事務局でご覧になれます。

平成26年第3回定例区議会 会期日程〈会期29日間〉

月／日	本会議・委員会関係日程	月／日	本会議・委員会関係日程
9／17	議会運営委員会	10／3	オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
	本会議（会期の決定・区長招集あいさつ等）		商工観光施策特別委員会
18	議会運営委員会	6	公共施設整備特別委員会
25	議会運営委員会		駅及び駅周辺環境整備特別委員会
	本会議（代表質問・一般質問）	7	議会運営委員会
26	議会運営委員会	8	決算特別委員会（総括）
	本会議（一般質問・議案の付託等）	9	決算特別委員会（総括）
	決算特別委員会	10	企画総務委員会
29	企画総務委員会		生活福祉委員会
	生活福祉委員会		環境文教委員会
	環境文教委員会		3常任委員会連合審査会
30	決算特別委員会	14	議会運営委員会
	商工観光施策特別委員会	15	議会運営委員会
10／1	決算特別委員会（分科会）		本会議（議案の議決等）
2	決算特別委員会（分科会）		企画総務委員会

委員会で取り扱った陳情（平成26年7月5日～平成26年11月6日）

※詳細は、区議会ホームページでご覧になれます。

陳　情　名（受付順に掲載）	送付委員会（　）は参考送付	審査状況（平成26年11月6日現在）
三崎町並びに猿楽町への神田冠称復活に反対し、区の慎重な対応等を求める陳情	生活福祉委員会	審査終了
千代田区における喫煙所の絶対数不足解消に向けた改善を求める陳情	環境文教委員会	継続審査
「猿楽町・三崎町」住民と企業を含む神田冠称反対賛成のアンケート調査を希望する陳情	生活福祉委員会	審査終了
「猿楽町・三崎町」の町名にかかわる歴史の調査をして議論頂きたい旨の陳情	生活福祉委員会	審査終了
神田冠称反対陳情と新たに住民や企業・在勤者にアンケート調査実施を求める陳情書	生活福祉委員会	審査終了
神田冠称に関する「猿楽町・三崎町」住民と企業への意向調査を希望する陳情書	生活福祉委員会	審査終了
地元区民の意見を重視反映して神田冠称を判断して欲しい神田冠称に反対する陳情書	生活福祉委員会	審査終了
隣地建物の解体工事及び建設工事から子供たちを守る件	環境文教委員会	審査終了
「猿楽町・三崎町」の住居表示の正当な歴史の調査依頼の陳情書	生活福祉委員会	審査終了
神田冠称に関して地域の合意が整っていない状態での町名変更に反対の陳情書	生活福祉委員会	審査終了
猿楽町・三崎町の神田冠称について公正公平判断を求める陳情書	生活福祉委員会	審査終了
議場における国旗・区旗の掲揚を求める陳情について	議会運営委員会	審査終了
千代田区内のゴミのポイ捨ての対策強化を求める陳情	環境文教委員会	審査終了
路上から半径 10 メートル以内の私有地も条例で路上禁煙地区に指定するように求む陳情	環境文教委員会	継続審査
手話言語法制定を求める意見書提出についての陳情	(生活福祉委員会)	審査終了
JK（女子高生）カフェ、リフレ店への現役女子高生雇用禁止の条例制定の陳情について	(環境文教委員会)	全委員に陳情書を配付し終了
神田東松下町計画の再検証・調査について	企画総務委員会	審査終了
神田地区の認可保育園等の早急な整備と延長保育、病後児保育等の充実を求める陳情	環境文教委員会	継続審査
芳林公園喫煙所の廃止または整備を求める	環境文教委員会	継続審査
長期在留する非正規滞在外国人住民を正規化するための意見書提出を求める陳情	(生活福祉委員会)	全委員に陳情書を配付し終了
千代田区議会政務活動費の交付に関する条例改正を求める陳情について	議会運営委員会	審査終了
生活福祉委員会で、猿楽町・三崎町の住民・企業にアンケートを新たに取る旨の陳情書	生活福祉委員会	審査終了
生活福祉委員会で、猿楽町・三崎町の住民・企業にアンケートを新たに取る旨の陳情書	生活福祉委員会	審査終了
生活福祉委員会で、猿楽町・三崎町の住民・企業にアンケートを新たに取る旨の陳情書	生活福祉委員会	審査終了
生活福祉委員会で猿楽町・三崎町の住民と企業にアンケートを実施する要望	生活福祉委員会	審査終了
生活福祉委員会で、住民と企業に神田冠称についてのアンケートとってほしい。	生活福祉委員会	審査終了
生活福祉委員会独自で猿楽町・三崎町の住民と企業のアンケートをとって頂きたい陳情書	生活福祉委員会	審査終了
生活福祉委員会で「猿楽町・三崎町」の住民と企業にアンケートをとって欲しい旨の陳情書	生活福祉委員会	審査終了
生活福祉委員会で「猿楽町・三崎町」の住民と企業にアンケートをとって欲しい旨の陳情書	生活福祉委員会	審査終了
生活福祉委員会で、猿楽町と三崎町の住民と企業にアンケートをとって欲しい旨の陳情書	生活福祉委員会	審査終了
生活福祉委員会で、猿楽町・三崎町の住民・企業にアンケートを新たに取る旨の陳情書	生活福祉委員会	審査終了
生活福祉委員会で、猿楽町・三崎町の住民・企業にアンケートを新たに取る旨の陳情書	生活福祉委員会	審査終了
生活福祉委員会で、猿楽町と三崎町の住民と企業にアンケートをとって欲しい旨の陳情書	生活福祉委員会	審査終了
生活福祉委員会独自で猿楽町・三崎町の住民と企業のアンケートをとって頂きたい陳情書	生活福祉委員会	審査終了
生活福祉委員会で、猿楽町・三崎町の住民・企業にアンケートを新たに取る旨の陳情書	生活福祉委員会	審査終了

委員会の記録は、区議会ホームページや区役所７階の区議会事務局でご覧になれます。

■ 区議会図書室の図書も閲覧できます

区議会には、議会活動や議員の調査研究のために、図書室が設置されています。蔵書は、議会や行政に関する図書を中心に収集しており、区議会ホームページから図書の目録を検索することができます。

区民の皆さんのご利用をお待ちしております。

利用方法

閲覧には、事前の予約が必要です。

希望される方は、電話または区議会ホームページの「資料閲覧受付フォーム」で予約してください。担当者からご連絡いたします。

（定例区議会開会中等は、閲覧のご希望に沿えない場合もあります。）

閲覧予約先

区議会事務局調査係　℡5211−4297

■「磁気ループ用受信機」の貸し出しについて

議場には、磁気ループを設置しています。本会議の傍聴にあたり、音声が聞こえにくい方には「磁気ループ用受信機」を貸し出しています。

希望される場合は、傍聴受付または区議会事務局へお申し出ください。

メールマガジンを申し込んでみませんか！

区議会では、議会の最新情報をお届けする「区議会メールマガジン」を発行しています。お申し込みは、区議会ホームページの「メールマガジンをお届けします」のコーナーから、メールアドレスをご登録ください。

本会議のインターネット中継を開始しました！

千代田区議会では、「開かれた区議会」を目指し、平成26年第1回定例区議会より、本会議のインターネット中継を開始しました。

これにより、傍聴に来ることができない方も、ご自宅のパソコン等で、本会議のライブ中継及び録画映像をご覧いただくことができるようになりました。

録画映像は、本会議終了後、おおむね2週間前後でご覧になれます。

注）議会中継は、千代田区議会の公式の記録ではありません。公式記録は、会議録検索システムからご覧ください。

議会中継に関する著作権は、千代田区議会が所有しています。映像・音声等の無断使用及び無断転載を禁じます。

詳しくは、「インターネット中継ページ」をご覧ください。

また、区議会ホームページでは、本会議終了後「議案の審議結果など」のコーナーには各議員の賛否を一覧表にした議決結果を、「提出した意見書・要望書など」のコーナーには、国等へ提出した意見書や要望書を掲載しています。「区議会日程」のコーナーには、本会議や各常任委員会等の開会予定に加え、会議録及び資料を速報版として掲載しています。

（速報版は、正式な会議録とは異なる場合があります。詳しくは、「区議会ホームページ」をご覧ください。）

区議会ホームページ
http://kugikai.city.chiyoda.tokyo.jp

区議会インターネット中継ページ
http://www.kensakusystem.jp/chiyoda-vod/index.html

議案の審議結果等（平成26年第3回定例区議会）

可…可決/否…否決/○…賛成/×…反対
欠…欠席/退…退席/除…除斥

議案名等＼議員名等		出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1 うさみ正記 行革クラ	2 林則行 千代田	3 河合良郎 千代田	4 はやお恭一 千代田	5 髙澤秀行 千代田	6 安岡けんじ 行革クラ	7 永田壮一 自民	8 内田直之 自民	9 嶋崎秀彦 自民	10 小林たかや 声	11 寺沢文子 声	12 岩佐りょう子 民主	13 欠員	14 大串ひろやす 公明	15 山田ながひで 公明	16 小林やすお 自民	17 松本佳子 自民	18 桜井ただし 自民	19 飯島和子 共産	20 木村正明 共産	21 中村つねおネット	22 髙山はじめ 自民	23 戸張孝次郎 自民	24 鳥海隆弘 自民	25 石渡伸幸 自民	議決月日
委員会提出議案	議案第38号 町名の変更についてに対する附帯決議	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	議長は採決に加わりません	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/15
	手話言語法の制定に関する意見書	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/15
	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成に関する意見書	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/15
議員提出議案	地方税財源の拡充に関する意見書	24	23	21	2	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	10/15
区長提出案件	千代田区手数料条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/15
	千代田区立障害者福祉センター条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/15
	町名の変更について	22	21	18	3	可	×	○	○	○	○	○	○	○		退	退	○		○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	10/15
	千代田区こども医療費助成条例等の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/15
	千代田区児童育成手当条例の一部を改正する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	10/15
	平成25年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について	24	23	18	5	可	○	○	○	○	○	○	○	○		×	×	×		○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	10/15
議員提出議案	千代田区議会議員政治倫理条例	継続審査																													
報告	平成25年度千代田区財政健全化判断比率について	———																													9/26
	区立神田一橋中学校改修工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について	———																													9/26
	区立神田一橋中学校改修電気設備工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について	———																													9/26
	区立神田一橋中学校改修給排水・空調設備工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について	———																													9/26

◆ 千代田区議会議員　条例定数 25 名　現員数 24 名　欠員 1 名

7月～9月の主な活動

月／日	日程	月／日	日程
7／8	生活福祉委員会	8／8	千代田区平和使節団議員派遣（長崎） 【岩佐りょう子議員8月8日～10日】
10	商工観光施策特別委員会	25	議会運営委員会
16	生活福祉委員会	9／8	企画総務委員会
	区民集会運営協議会		生活福祉委員会
22	千代田区平和使節団議員派遣（沖縄） 【内田直之議員7月22日～25日】		環境文教委員会
25	議会運営委員会	10	〈平成26年第3回千代田区議会定例会告示日〉
	企画総務委員会		議会運営委員会
	生活福祉委員会	12	北京市区・県人民代表大会友好代表団表敬訪問
29	環境文教委員会	16	議会運営委員会
	嬬恋村議会との議員交流会		商工観光施策特別委員会

委員会の記録は、区議会ホームページや区役所７階の区議会事務局でご覧になれます。